

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立田川小学校 学校協議会

総括についての評価

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】達成状況はB

不登校児童は2月末から2人が登校し始めているので、3月現在はひとりである。家庭と児童が利用する民間施設、子サポと連携して長期的な支援に取り組んでいると説明すると、学校に来られるように継続して取り組んでほしいと言われた。

教員の観察では、自ら進んであいさつができるので高評価であった。しかし、児童は自分に厳しい回答のため目標を下回り、結果がB評価となっている。教員の観察による評価はよいのでB評価にしたと伝えると、次年度は目標設定を再考するよう指摘された。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】達成状況はB

平均は目標数値を上回っているが、一人一人の達成度をより上げていくために、達成状況をBとしたが、目標を達成できているので達成状況はAと評価していただいた。教員の指導力向上や児童の多様な学びと学習の習熟等を継続するとともに、よりよく達成感が得られるような工夫をされるようにという意見があった。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】達成状況はB

学習者用端末は、アプリや教材等の整備により、授業での活用率高くなっている。また、児童の登校に合わせた勤務時間の変更や「ゆとりの日」の設定等により、授業の準備や評価等の時間が確保できるようになり、児童と向き合う時間も増えつつある。成果が出ているようなので、継続して取り組むよう評価していただいた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】B評価

- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和6年度の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- 令和6年度の校内調査における「進んであいさつができるですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

年度目標：【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】B評価

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和6年度の校内調査における「国語の授業の内容は分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和6年度の校内調査における「毎日、決められた時刻（低学年午後9時・中学年午後9時30分・高学年午後10時）までに寝ていますか」「毎日、決められた時刻（午前7時）までに起きていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

年度目標：【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】B評価

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。
- ゆとりの日を週に1回以上設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。
- デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を週に3回の頻度で実施し、ICTの活用を進める。

達成状況のB評価に関しては概ね妥当である。

○配慮が必要な児童について 情報や手立てを教職員で共有し、児童の困りごとに寄り添った対応は大事なことである。一人一台端末の「いじめアンケート」や「相談機能」「心の天気」を活用して児童の困りごとの早期発見と直接子どもに聞くことを引き続き大事に取り組んでほしい。あいさつについては、見守りや地域の人へも広げていってほしい。

○研究や研修などで先生たちは学び、子どもへの指導に役立てていることが分かった。漢字検定に向け、計画的に漢字学習を進めたことで学習意欲向上、基礎学力向上につなげることができた。合格率は8割ほどでよくなっている。また、小学校学力経年調査の国語科正答率が市平均より6.3ポイント上回った。他の教科についても、大阪市平均を超えており、さらに学力向上ができるようにしてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校内あげている「次年度に向けての改善点」の内容は適切な内容で、計画的に進めほしい。学習規律や学習の習熟も年々よくなっている。学力向上は教員の指導力向上に伴う。しっかりと研究や研修に取り組んでいただきたい。また、子どもの興味関心を高める多様な学びを継続してほしいという意見が出ていた。